



シルバーだより

No. 366
令和3年6月1日
荒川シルバー大学
荒川区荒川3-49-1
理事長 岡田芳子
TEL 3801-5740
FAX 3801-5691

— 所属感を生かそう —

学長代行 望月 公子

コロナワクチンの接種が始まりました。シルバー大学でも2年間コロナに振り回されてきましたが、これからは正常な学びが取り戻されるのではないかと期待しています。

4月23日に、今年度最初の講師会が生涯学習センターで開かれ、講師の方々からは、昨年度の報告と今年度の学習計画の説明がありました。

シルバー大学は、多種類の学習内容や多様な学習形態を有する学校ですので、コロナ対応も実に様々であり、この狭い紙面では説明しきれませんが、諸先生方が心を込めて授業の準備をし、学生の受け止め方を見ながら次の予定を再考されていること。そして緊急事態の対応に苦慮されながらも、今年度の学習計画を立て、万全の準備をして学生との再会を待っているとのことでした。

学生の皆様もこういった講師の方々の前向きな取り組みをご理解頂き、今年度の授業がスムーズに進行していくようご協力をお願い致します。

- ◎ 学生が意欲的だから、先生が熱心になるのか？
- ◎ 先生が意欲的だから、学生が熱心になるのか？

「私は思わず、先生方の思いを『シルバーだより』で伝えます」と言ってしまいました！



激変に次ぐ激変の世の中です。キャッシュレス、スマホ、コロナ、COVID-19、PCR検査、二重変異種など、言葉だけでも目が回りそうです。こうした時だからこそ、今まで培ってきたシルバー大学での交流による情報交換が、悩みを解決してくれるものと思います。たとえコロナで講義を受けられなくても、

- ・ シルバー大学の学生であること
- ・ 地域のメンバーであること
- ・ 教室の一員であること

に誇りを持ち、校歌にある『人と人との輪の花』を咲かせ、更にシルバー大学の学生であるという所属感を確認しつつ、この大事な時を乗り越えましょう！

《《 奨励賞いただきました 》》

「もしもし、シルバー大学で新しく絵の教室が始まるのだけれど、学生がまだ集まらなくて困っているの。あなた、絵が好きだから入りなさいよ。とっても素敵な先生なのよ。」

私のシルバー大学生活は、友だちのこの一本の電話から始まりました。

パステル画は、どう描くのか、材料は？全く分からないまま始まりましたが、何とかやってみれば元々好きなことですから、楽しく通えました。クラスの方から学ぶところ大で、あっという間の10年でした。

今では、月：何でも、火：日本の話芸、水：社会科見学、金：歌声クラブ、パステル絵の具画、と5つの教室に通い続けています。気功にも2年ほどお世話になりました。

顔を合わせ、話をし、教わる、という生活をこれからもまた10年は続けたいと思います。好奇心を持ち続けて。

(パステル・絵の具画教室代表 太田 諏訪子)

投稿

《《 コロナ禍で迎えた 10周年 》》

歌声クラブ教室講師 本田 晴子

今年度は、コロナ対応のため、火曜と金曜の二本立てで進むことになった。教室では、アラビアの国と間違えるような、目しか出ていない「月の砂漠」に出てくる王様と王女様で、さながら、よその国へ来たような感覚になる(美女かイケメンか定かではナイ)。三密を避け、声を控えめにして歌っている。

去年は、コロナの嵐に見舞われ、上半期、中止を余儀なくされた。ニュースでは、昼カラオケ、合唱でのクラスター発生が流れ、この状態ではしばらく無理かと思われたが、木村学長、高橋建司助手のご尽力により、何とか教室を開くことができた。再開した時は、皆さん、大変喜んで限られたひとときを一曲一曲愛しむように口ずさんでいた。

思えば平成24年、「歌声喫茶」のような歌える新教室として、原田名誉学長、高橋助手の発案により『歌声クラブ』教室が誕生。あれから10星霜、息切れすることなく駆け抜けてきた。教室では、扇子をマイクに見たて「女きみまる」の異名で少しでも皆が笑顔になれるよう心がけている。季節のうた、歌謡曲、民謡など今まで取り上げた曲は2000曲に及ぶ(高橋助手の調査による)。長い間教室を支えて下さった高橋助手は、この度、教室を離れることになった。寂しい限りであり、感謝の気持ちでいっぱいである。最後の教室では、高橋助手のリクエストで「星影のワルツ」を皆で歌いお別れしたが、私からは次の10年への思いを込めて、全員にこの曲を送りたい。「私とあなたの合言葉、音楽室で会いましょう」と。(「有楽町で会いましょう」の替え歌)



絵：本田講師

— コロナ終息と一同に会える日を願って —

女学生の頃の学生生活に心残りのまま大人になった私は、現役を退いた後には、自身の最終章を悔いを残すことなく、楽しく学べる学生生活を送り過ごしたいと強い願望を抱くようになりました。隣町の矢板にある、シルバー世代が学べる学校へ入学するつもりでいたのですが…。家の事情で、終の住み処であった那須高原の地を離れることとなり、2010年春に上京しました。

早くに学びたい気持ちを持ちつつ、30年ぶりの東京での生活に順応するまでに1年の期間を有してしまい、学生生活を送れるようになったのは、2年目の春である2011年。念願の荒川シルバー大学に入学することが出来たのです。希望していた教科にも入ることが出来、いつも変わらず真摯な授業をして下さる池田先生に感謝を申し上げ、私の心の拠り所である素晴らしい仲間にも恵まれ、授業日が待ち遠しいほど、悔いのない幸せな10年間の学生生活を送ることが出来ました。“学ぶことは前へ進むこと”をモットーとして、更に20年目を目指して、学び続けていきたいと思っています。



最後に、コロナ禍で多くの制限がある折柄、関係各位の皆様のご尽力により、心温まる令和2年度の閉講・卒業式が3月17日に举行されましたこと、厚く御礼申し上げます。お久しぶりに、原田先生のお元気なお姿に接することもでき、大変嬉しく思いました。

当日、私は奨励賞を頂きました。ありがとうございました。

(朗読教室 大塚 由紀子)

《《 生命の不思議に出会う旅 》》

元 自然と小さな旅教室助手 松本 タキ子

自然と小さな旅教室では、5年間お世話になりました。

この教室は、都内や近郊の自然を求め旅に出ます。昨年度はコロナの影響で十分な活動は出来ませんでした。そのような中でも都内の公園で、植物の生命の不思議に何度も出会うことができました。

いつも当たり前のように出来ていたことが出来なくなり、全く違った日常になってしまうことは、10年前にも体験しましたが、今回のコロナ禍の下ではいろいろと考えさせられました。シルバー大学の学生の皆さんは、いつも前向きで元気。学ぼうとするエネルギーにあふれています。学生の皆さんから、本当にたくさんのお話を教えていただきました。ありがとうございました。

旅の思い出はつきませんが、ただ景色を愛でるだけでなく、貴重なふれあいがたくさんあったことが一番の思い出です。

自然と小さな旅教室で学んだ、春夏秋冬の美しい日本の四季。その中にある二十四節気、七十二候の季節の移ろいを心に留めて、ゆったりとていねいに、これからの人生を生きていきたいと思っています。

シルバー大学の皆様のご健康と、ますますのご発展をお祈りしております。お世話になりました。ありがとうございました。

昨年3月5日に、4回の手術を終えて退院したものの、コロナで大変なことになっていてビックリ！それからの生活が一変し、ゴミ出しに行くにもマスクが必要で手放せなくなりました。

外に出かけることがなくなり、友人とのランチ会もお茶飲み会もなくなり、ちょっとした鬱になりそうでした。前の生活がいかに大事だったか思わずにはいられません。人との関わりのなさがこのように心をむしばむとは！

長い長～い自粛生活にもやっとワクチン接種が話題になり、少し先が見えてきたように思うこの頃ですが、最近変異種がはやりだし、いつまで我慢すればいいのか分かりません。シルバー大学の勉強再開を心待ちにしております。

(読書・心の旅教室代表 市川 弘美)

- 荒川シルバー大学ホームページ更新履歴 (担当 広報部・パソコン教室講師 望月利一)
- ・2021/04/19 年間予定表 日程変更 ・2021/05/1 ご挨拶・お知らせ・シルバーだより
-

6月の行事中止について

18日(金) 第二回合同講義 中止 (新型コロナウイルス感染防止対策による)

◆◆◆◆◆ 学 園 日 誌 (5月) ◆◆◆◆◆

- | | | | |
|-----|---|-----|-----------------|
| 11日 | 5/31までの緊急事態宣言による中止科目の会場使用取消書類作成提出 (センター・ふれあい館・ひろば館・町屋文化センター・サンパール荒川) 施設部長・事務局 | 14日 | 学校要覧 配付 (各教室にて) |
| 12日 | 常任理事会・役員会 (教室・地区) | 18日 | 広報委員会 |
| | | 21日 | 第一回合同講義 中止 |
| | | 26日 | シルバーだより 366号作成 |



※事務局だより※

1. 新型コロナウイルス緊急事態宣言 (5/31 期限) による中止教室について
歌唱・スポーツ・ダンス等の活動自粛により、シルバー大学もフラダンス・歌声・料理・輪踊り民舞・健康体操・気功・茶道教室の授業が中止となりました。
2. 冷房使用について
暑くなります。冷房使用の際は、こまめな温度設定を心がけましょう。終了後以下の項目を必ずご確認お願いいたします。
① 冷房のスイッチ ② 戸締り ③ 忘れ物 ④ ごみのチェックなど

(事務所) TEL3801-5740 FAX3801-5691

(ホームページ) <http://www.arakawa-silver.com/>

室長：田原